

音楽クロスロード収載

エミール・ブールデルとベートーベン

エミール・アントワーヌ・ブールデルは、フランスの彫刻家でパリの国立美術学校を中退しフランスを代表する彫刻家ロダンの助手となります。

ブールデルは、27歳のときから1929年に亡くなるまで、音楽家ベートーベンの肖像にとりくみ、45点もの彫刻をのこしています。

代表作の一つは、「弓をひくアポロン」で美術の教科書によく出てきます。



ベートーベンの彫刻に関しては、ベートーベンと自分の顔が似ているものと思って、制作にとりかかったと言われています。その一つがよく見られる次のものです。



兵庫芸術文化センターのエントランスには次のレプリカが飾られています。調べてみると「風の中のベートーベン」という作品で本物と比べてみてください。



